



地域に親しみ、地域に学び、
地域を考え、地域に貢献する

国分寺学

～人と学びが循環するまちを目指して～



国分寺学とは

次代の国分寺市を担う子どもたちが、市民の方々の地域に対する思いを受け止め、主体的に地域と関わり、地域に根差した探究的な学習を進めることにより、「課題解決力」「コミュニケーション力・協働力」「社会参画力」に関する資質・能力を育むことを目指しています。

令和6年4月
国分寺市教育委員会

創出の背景

第2次国分寺市教育ビジョンでは、目指すまちの姿を「人と人とがつながり、学びが循環するまち」としています。それを踏まえ、子どもたちが、地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献できるような資質・能力を育むために、これまでの授業実践や小・中連携教育の取組を充実・発展させた「国分寺学」を創出しました。

創出にあたっては、今までの小・中連携教育の取組の整理、本市の教育財の価値の精査、授業協力者やボランティア等の地域協力者の発掘を推進していきます。

育みたい資質・能力

国分寺学を通して育みたい資質・能力を次の三つに整理しました。

- ・「課題解決力」
→自らの興味・関心に応じて調べたり、体験したりすることを通して、自ら課題を設定し、解決する力
- ・「コミュニケーション力・協働力」
→他者と関わり、自分の考えと比較したり、他者の異なる考えを尊重したりしながら協力して取り組む力
- ・「社会参画力」
→地域の一員としての気付きや、地域のために自分にできることを考える力

これらを、小学校・中学校の9年間で段階的に身に付けていくことで、地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献できる児童・生徒の育成を目指します。



学びの循環、人の循環

(1) 学びの循環 ～地域の特性を生かした探究的な学習～

学習過程「課題設定」「情報収集」「整理・分析」「発言・実行」を通して、自己を見つめ直し、地域について調べたり、関わったりする中で、地域を大切にする思いを育み、新たな課題の探究に向けて主体的に考えようとする姿勢を養います。

(2) 人の循環 ～地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献する～

子どもたちは、学校での国分寺学における学びを経て、青年、壮年・老年へと歩みを進めます。その過程で、地域社会でスポーツに関わったり、図書館や公民館等において学びや交流を深めたりします。やがて、スポーツや講座の指導者、ボランティアとして、地域の学びに貢献していきます。

国分寺学の学び【小学校の例①】

第3学年 単元名 → こくベジ

地域資源との関連 → こくベジ事業に携わっている卒業生の保護者



【課題設定】

- ・社会科の「農家の仕事」と関連させ、こくベジのアピール動画を観て、分かったことや疑問に思ったことを出し合う。

【情報収集】

- ・国分寺駅北口の直売所に見学に行き、様子を見たり、買っている方に質問をしたりして、こくベジについて疑問を見付ける。

【整理・分析】

- ・ゲストティーチャーを迎え、疑問を解決する。
- ・「関係している農家の数」や「苦労」、「やりがい」、「これからのこくベジ」等、内容を整理する。

【発言・実行】

- ・調べたことや分かったことを中心にタブレット端末のプレゼンテーションソフトを活用して発表する。
- ・農家の方々の思いを受け止め、自分とこくベジの関わり方についての考えをまとめる。

国分寺学の学び【小学校の例②】

第4学年 単元名 → 東京都の伝統や文化、東京都の発展につくした人々

地域資源との関連 → 中藤分水土地所有者 玉川上水（国指定史跡）



【課題設定】

- ・玉川上水について関心をもち、疑問などから学習問題や学習計画をたてる。

【情報収集】

- ・玉川上水の成り立ちや、完成したあとの人々の生活や武蔵野台地の変化について資料を活用して調べる。

【整理・分析】

- ・玉川上水をつくった玉川兄弟の苦心や人々の生活についてまとめ、先人の働きの意味について考える。

【発言・実行】

- ・自分たちの生活と関連付けてこれからの玉川上水について考えたことを新聞やプレゼンテーションにまとめて、保護者や地域の方々に向けて発信する。

国分寺学の学び【中学校の例①】

第2学年 単元名 → 国分寺市で学ぶ進路学習 職場体験(国分寺学×SDGs)

地域資源との関連 → 地域の事業所(保育園・スポーツ施設・小売店・飲食店等)



【課題設定】

- SDGsを手がかりとして社会参画や社会貢献のしかたを考える。

【情報収集】

- 体験する業種や事業所のSDGsの取組について、調べたり取材したりする。

【整理・分析】

- 各事業所のSDGsの取組について、内容やその意義についてプレゼンテーションソフトを使って、まとめる。

【発言・実行】

- 職場体験で学んだことや、各事業所のSDGsの取組を同学年や下級生、保護者に向けて発表する。

国分寺学の学び【中学校の例②】

第3学年 単元名 → 郷土食 ゆでまんじゅうづくり

地域資源との関連 → 地域の方々 小学生 等



【課題設定】

- 国分寺の歴史や文化について調べ、郷土食が生まれた背景を考える。

【情報収集】

- 郷土食についての情報を収集する。

【整理・分析】

- 小学生へ教えることを視野に入れて作り方をまとめる。
- 実行委員会を立ち上げ、体験活動の進行や準備の立案をする。

【発言・実行】

- 事前学習をもとに、小学生へ向けて伝承する計画を立て、資料を作成し、調理・実食する。